

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	巡回発達相談事業			事業開始年度	平成18年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課			担当者	佐藤 和子		
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	幼児教育・保育サービスの充実				
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配慮を要する児童の保育に対する保育士の不安感軽減のために助言を受けられる。</li> <li>・配慮を要する児童への適切な保育環境が提供される。</li> </ul>						
事業の概要	臨床心理士等による児童の発達状況の確認及び保育士への指導を各保育園で約年7回実施する。（保育士に対する研修）						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,180		1,488		1,896	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	配慮を要する児童の保育に対する助言を受けた保育士の延べ人数	人	367	375	450	450
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	定期的に児童の発達状況を確認し、保育士の指導に活かすことができた。全体研修会を行なうことにより、保育士の知識をより深めることができた。新型コロナウイルス感染症の影響により巡回発達相談12回を中止とした。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	民間保育園事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	佐藤 和子			
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	幼児教育・保育サービスの充実				
事業の目的	民間保育施設が円滑に運営され、適正な数の児童の保育が行われている。						
事業の概要	市内私立保育所・認定こども園（2号3号認定）に対し、公定価格に基づく運営費として施設型給付費を支払う。						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	823,414		822,137		0	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	市内の民間保育園に通う児童数	人	716	736		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	各保育施設に滞りなく適正に支払いを行なうことができた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	管外保育園保育事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 子ども政策課		担当者	佐藤 和子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	幼児教育・保育サービスの充実				
事業の目的	管外保育施設が円滑に運営され、適正な数の児童の保育が行われる。						
事業の概要	管外の私立保育所・認定こども園（2号3号認定）に対し、公定価格に基づく運営費として施設型給付費を支払う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	96,825		79,317		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	市外の民間保育施設に通う児童数	人	85	74		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	各保育施設に滞りなく適正に支払うことができた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	ファミリーサポートセンター事業			事業開始年度	平成16年度		
担当課	健康福祉部 子ども政策課		担当者	佐藤 和子			
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	幼児教育・保育サービスの充実				
事業の目的	育児に関する相互援助活動を推進し、地域での子育て家庭への援助体制を整備することにより、仕事と育児の両立を図る。						
事業の概要	市が設置し、運営を社会福祉法人さくら市社会福祉協議会に委託する。 利用会員が提供会員に1時間当たり600円支払う。						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,661		1,802		2,393	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	サポートをしてくれる市民登録件数	人	49	47	47	47
	成果	サポート利用件数	回	57	94	94	94
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	会員は減少したが、利用実績が増加した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	子育て短期支援事業			事業開始年度	平成18年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課			担当者	加藤 咲楽		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	幼児教育・保育サービスの充実				
事業の目的	家庭での養育が一時的に困難となった児童の保護						
事業の概要	保護者の疾病等の理由により、一時的に家庭での養育が困難となった児童を実施施設に養育を委託する。社会福祉法人養徳園、済生会乳児院に委託。H30.12～きずな追加						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	410		539		735	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
		延べ利用日数	日	73	51	70	70
	成果	委託児童数	人	12	9	12	12
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	コロナ禍で延べ利用日数は減少しているが、利用実人数に大きな減少はなく、必要な支援を行うことができている。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	民間育児サービス対策事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課			担当者	佐藤 和子		
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	幼児教育・保育サービスの充実				
事業の目的	保育が必要な児童を一定の基準を満たした認可外保育施設で保育している場合、その施設に補助することにより、児童への適切な保育ができる。						
事業の概要	認可外保育施設で保育が必要な児童が入所している場合、その施設が適切な保育サービスを実施できるよう、施設に対し補助金を交付する。						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	施設への補助により適切な保育が行われた児童数	人	0	0		
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	対象施設の利用がなく、事業実績がなかった。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小			業務量	○拡大 ○現状 ●縮小	

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	特別保育事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	佐藤 和子			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	幼児教育・保育サービスの充実				
事業の目的	就労形態の多様化にあわせ、延長保育、一時預かり保育、病児保育などを利用できる。						
事業の概要	私立保育園等で実施する特別保育事業に対し、国、県、市の補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	68,574		72,821		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	特別保育実施率	%	100	100		
	成果	特別保育要望対応率	%	100	100		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	各種補助金交付要綱に基づき、各保育施設で実施する特別保育事業に対し、適正に補助金の交付を行なうことができた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	あおぞら保育園地域活動事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課			担当者	八木澤 令恵		
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	幼児教育・保育サービスの充実				
事業の目的	地域との交流を通し様々な体験をするなかで、子どもの生活が豊かになり、子育て家庭の養育力の向上に繋がる。地域の社会資源として理解を得る機会となる。						
事業の概要	地域の高齢者、異年齢児童等、地域交流・世代間交流事業を継続的に実施する取り組みを行う。各種行事へ参加を呼びかけ、交流を通し豊かな人間性を持った子どもを育成する。						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		60	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
		交流延べ人数	人	0	0	100	100
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	例年、各行事等には、地域老人会にお声かけをして出席を集めている。小学校との交流会や、特別養護老人ホーム、デイサービス施設への慰問を行っているが、新型コロナウイルス感染症対策のため実施していない。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		



**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	あおぞら保育園管理運営事業			事業開始年度	平成22年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	君島 昌彦			
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	幼児教育・保育サービスの充実				
事業の目的	保育が出来ない保護者の児童に対する保育が行われる。健全な心身の発達を図り、養護・教育一体の豊かな人間性を持った子に育てる。保育環境として安全性、快適性を満たす。						
事業の概要	市が入園を承諾した児童を年齢別に分け、各年齢に応じた保育業務や保育を行う。保育園の建物、施設に関し法令や規則に沿って維持管理を行う。						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	150,763		145,606		160,833	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	定員充足率（％）	％	98	91	96	96
	活動	一時保育の受入れ率（％）	％	0	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	保育士及び調理員確保の課題は残るが、定員充足率を多少達成することができた。一時保育の申込人数と受入人数が同数のため100%達成することができた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	幼児教育振興事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	佐藤 和子			
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	幼児教育・保育サービスの充実				
事業の目的	市内の幼児が安心して幼稚園に通える。						
事業の概要	特別支援を要する園児が在園する市内の幼稚園に特別支援教育費を補助する。						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,200		1,600		0	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	特別支援教育を要する園児数	人	6	8		
			人				
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	適正に補助金の交付を行なうことができた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	たいう保育園管理運営事業			事業開始年度	平成20年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	西 重幸			
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	幼児教育・保育サービスの充実				
事業の目的	保育園における環境を通じて、養護及び教育を一体的に行い、保育目標に沿って園児の健全な心身の発達を図り、豊かな人間性を持った子どもを育成する。						
事業の概要	年齢に応じた保育業務、保育給食を行い、市長が決定した額の保育料、給食費を徴収する。						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	81,418		86,386		90,016	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	活動	定員充足率	%	74.1	67.6	67.6	67.6
	活動	一時保育の受け入れ率（%）	%	0	0	0	0
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	保育士不足により定員充足率が低下した。また一時保育の相談が1件あったが、受け入れすることができなかった。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	たいよう保育園地域活動事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	西 重幸			
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	幼児教育・保育サービスの充実				
事業の目的	日常の保育を通じて蓄積された子育ての知識・経験・技術を活用し、保育園の場を活用して、子どもの健全育成及び子育て家庭の支援を行う。						
事業の概要	地域に開かれた社会資源として、世代間交流等を行い、保育園の持つ専門的機能を地域住民のために活用する。						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		25	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	活動	交流延べ人数	人	120	0	120	120
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染防止のため、地域との交流事業は行わなかった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	わくわく保育園管理運営事業			事業開始年度	平成20年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	大内 正枝			
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	幼児教育・保育サービスの充実				
事業の目的	保護者の労働等の様々な理由により、家庭において十分に保育することができない乳幼児を保護者から委託を受けて保育し、養護と教育を一体的に行う。						
事業の概要	年齢と発達に応じた保育を行い、市長が決定した額の保育料、給食費を徴収する。開園時間は、午前7時15分から午後7時30分まで。						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	70,060		96,012		73,280	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	活動	定員充足率	%	66.5	68.6	68.6	68.6
	活動	特別保育（一時＋延長）の受入割合	%	100	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	定員充足率は、少子化や地域性もあり、達成は困難である。延長保育と一時預かり保育については、100%となり達成できたが、コロナ禍の影響で利用は減少している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	わくわく保育園地域活動事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	大内 正枝			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	幼児教育・保育サービスの充実				
事業の目的	園児が地域の人々との交流を通して様々な経験をしていくことにより、生活経験が豊かになる。また、保育園が地域に開かれた社会資源として理解を得る機会となる。						
事業の概要	地域の高齢者や小学生との異年齢児童交流、また地域住民など世代間の交流事業を継続的に行うこと						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	97		108		180	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	活動	交流延べ人数	人	200	0	100	100
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた交流等を中止せざるを得なかった。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	地域型保育事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	佐藤 和子			
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	01	幼児教育・保育サービスの充実				
事業の目的	地域型保育事業所が円滑に運営され、適正な数の児童の保育が行われている。						
事業の概要	入園している児童（2号・3号）に対し国の定める基本保育単価等乗じた運営費として地域型保育給付費を支払う。						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	96,355		98,630		0	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	事業所を利用する園児数	人	44	44		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	滞りなく、適正に支払いを行なうことができた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	児童館管理運営事業			事業開始年度	平成20年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	田代 直也			
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	02	子どもの居場所づくり				
事業の目的	児童の健全な遊び場、子育て支援の場の提供。 留守家庭児童が放課後児童クラブを利用して、放課後の健全な保育や育成が図られる。						
事業の概要	指定管理者により管理運営を行う。氏家：(株)明日葉、上松山：市社会福祉協議会、喜連川：シダック ス大新東ヒューマンサービス(株)						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	123,753		123,705		161,623	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	児童センター及び支援センター利用者数（延べ人数）	人	17,772	23,342	30,000	30,000
		放課後児童クラブ入所率	%	100	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	放課後児童クラブの入所者は年々増加しているが、待機児童を出さずに受入することができている。 児童センター利用者は令和2年度より増加したが、コロナ禍前の水準の半分程度の人数となっている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		



**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	放課後児童健全育成事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課			担当者	田代 直也		
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	02	子どもの居場所づくり				
事業の目的	1 留守家庭児童の健全な保護及び育成が図られる。 2 待機児童を出さない。						
事業の概要	市社会福祉協議会（押上小、熟田小）養徳園（南小）に委託して事業を行う。						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	33,747		42,958		0	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	入所率（放課後児童クラブ児童数／対象児童数）	%	100	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	現在、待機児童を出さず児童の受け入れができています。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	放課後子ども教室推進事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	教育委員会 生涯学習課		担当者	赤塚智衣			
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	02	子どもの居場所づくり				
事業の目的	放課後の子どもの安全な居場所を提供し、地域の大人との交流を図る						
事業の概要	放課後に子どもの安心安全な居場所を設け、地域の協力を得て、スポーツ、文化活動、勉強等の交流を推進する。喜連川小（水曜日）、押上小（金曜日）で実施している。						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	178		208		332	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	ボランティア登録者数	人	30	43	50	50
	成果	申込児童数	人	31	62	70	80
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	コロナウイルス感染拡大の影響により感染拡大以前と比較すると開催回数は減少したが、押小っ子ふれあいスクールと喜小っ子ふれあいスクールにおいて放課後子ども教室が開催され、自由遊び・物づくり活動・交流活動を通して児童と地域住民との交流が推進された。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	あおぞら保育園子育て支援センター事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	八木澤 令恵			
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	03	子育て不安の解消				
事業の目的	未就園児の保護者が、保育・育児の情報取得・交換や子育てに関する相談が安心してできるようにする。						
事業の概要	子育て家庭への支援活動の企画・調整・実施を行う。園児交流、育児講座、健康相談、遊びの指導等の活動を通し、保育・育児の情報交換の場の提供を行う。						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	140		68		388	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	年間利用親子人数	人	40	28	200	200
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	児童館等にパンフレットを置いたり、広報紙等を活用し周知に努めたが、新型コロナウイルス感染防止のため、支援センターを一時休止、イベント等を中止にした。今後も幅広く周知し、利用者のニーズに答えていけるよう環境設定に努めたい。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	幼稚園子育て支援補助事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	佐藤 和子			
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	03	子育て不安の解消				
事業の目的	幼児への子育て支援が充実する。						
事業の概要	きつれ川幼稚園・氏家幼稚園の子育てランド事業に補助を行う。 なお、県補助金は直接幼稚園に支払われている。						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	700		700		0	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	延べ参加者数	人	1,586	1,312		
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	適正に事務処理を行い、滞りなく補助金の支払いを行なうことができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ○現状どおり継続 ●廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小		業務量	○拡大 ○現状 ●縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	たひよう保育園子育て支援センター事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	西 重幸			
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	03	子育て不安の解消				
事業の目的	家庭における子育てを支援し、児童の健やかな成長が促進できるような適切な相談、助言及び指導を行い、子どもを安心して生み育てることができるようにする。						
事業の概要	子育ての相談、情報の提供、助言や各種イベントを行う。						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	121		114		257	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	活動	年間利用人数	人	100	36	200	200
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染防止のため、支援センターを一時休止、イベント等は中止した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	子ども家庭総合支援拠点及び家庭児童相談室運営事業			事業開始年度	令和 3年度		
担当課	健康福祉部 子ども政策課		担当者	加藤 咲楽			
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	03	子育て不安の解消				
事業の目的	子どもとその家庭及び妊産婦を対象に実情把握、子ども等に関する相談、継続的なソーシャルワーク業務を行い、保護者の悩みが解消し、子どもの安全が確保される。						
事業の概要	会計年度任用職員の子ども家庭支援員兼家庭相談員が週5日勤務しており、電話又は訪問又は来庁による相談に応じている。関係機関との連携強化を図る。						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	8,637		9,504		10,112	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	相談解決率	%	20	19.6	23	23
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	子どもに関する相談に対して、適正に応じることができた。 また、関係機関と連携し、児童虐待の未然防止や早期発見・早期対応に努めることができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	利用者支援事業（母子保健型）			事業開始年度	平成29年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	鈴木 由佳			
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	03	子育て不安の解消				
事業の目的	保健センターを妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」と位置づけ必要なマネージメントを行う。						
事業の概要	①全妊産婦の支援に必要な情報把握②妊娠・出産・育児に関する相談に応じ必要な情報提供、助言、保健指導③支援プランの作成④妊産婦等支援会議、ネットワーク会議。						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	5,744		6,283		7,172	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	全妊婦に対するセルフプラン作成者の割合	%	100	100	100	100
	成果	産後退院してから1か月程度、指導ケアが十分に受けられた産婦の	%	91.4	92.4	92	92
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	セルフプラン作成者の割合は100%で、内容も工夫して妊婦に提示できた。産後1か月指導ケアが十分に受けられたと回答した産婦も横ばいである。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	妊娠・出産包括支援事業			事業開始年度	平成29年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	鈴木 由佳			
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	03	子育て不安の解消				
事業の目的	妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を、ワンストップ相談窓口においてニーズを把握し、相談支援を行い必要なサービスを提供する。						
事業の概要	保健センターを「子育て世代包括支援センター」と位置付け、併せて「産前・産後サポート事業」「産後ケア事業」を行う。						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	4,803		4,821		5,913	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	要支援妊婦に対する支援プラン作成者の割合	%	100	100	100	100
	成果	産後退院してから1か月程度、指導ケアが十分に受けられた産婦の	%	91.4	92.4	92	92
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	要支援妊婦に対する支援プランは全て作成することができた。4か月児健康診査票で十分に支援が受けられたと回答した産婦の割合は横ばいである。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		



**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	養育支援訪問事業			事業開始年度	令和 2年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	鈴木 由佳			
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	03	子育て不安の解消				
事業の目的	子育てに不安・孤立感を抱える家庭、養育支援が必要となっている家庭に訪問し育児・家事援助や養育の指導助言をすることで個々の家庭の養育上の問題解決・軽減を図る。						
事業の概要	出産後おおむね1年を経過しない期間において、妊娠期からの継続的な支援が必要であると認められる家庭や養育することに対して強い不安感を抱えている家庭に対しての支援						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	養育支援訪問利用者延人数	人	1	15	3	3
	成果	育児ストレス項目該当者数	人	2	0	0	0
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	令和2年度から事業を開始したが、実人員は2件必要な対象者を把握し事業周知する必要がある。実人数はR2年度1件、R3年度2件と横ばい。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	乳幼児健診事業			事業開始年度	平成29年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	鈴木 由佳			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	04	子どもの健やかな成長支援				
事業の目的	乳幼児の心身の発育・発達を総合的に診査し疾病障害の早期発見・早期対応を図り、健全な児の発育発達を促すとともに育児支援を行う。						
事業の概要	4カ月・10か月・1歳6か月・3歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診を年12回実施。身体計測、発達チェック、診察等を実施。股関節脱臼は個別医療機関検診。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	6,915		6,478		8,838	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	3歳6か月児健診受診率	%	98.8	97.7	99	99
	成果	3歳6か月児健診でう歯のない児の割合	%	80.42	78.8	82	82
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、感染対策を行いながら法定健診を実施。乳幼児相談に歯科衛生士の相談を実施。う歯のない児の割合はやや減少している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	こんにちは赤ちゃん事業			事業開始年度	平成20年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	鈴木 由佳			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	04	子どもの健やかな成長支援				
事業の目的	生後4か月までの乳児のいる家庭が必要な情報や適切なサービスを受けることで、地域の中で子どもを健やかに育成することができるようにする。						
事業の概要	産婦に対しエジンバラ産後うつ病質問票チェック、子育てサポート質問票、赤ちゃんの気持ち質問票の3点セット記入により産後うつの早期発見をする。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	3,842		4,069		4,370	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	乳児全戸訪問の実施率	%	99.37	100	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	コロナ感染増加の時期は訪問を延長して、感染状況が落ち着いたころ訪問を実施。訪問者も密を避け2人体制から1人体制とした。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	母子保健推進事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	鈴木 由佳			
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	04	子どもの健やかな成長支援				
事業の目的	安心して子どもを出産し、親と子が豊かに健やかに育ちあえること。						
事業の概要	母子健康手帳の交付、妊産婦への訪問・相談、乳幼児の育児相談、親子支援相談・教室、発達障害児早期支援相談・教室、就学支援教室等						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	1,568		1,887		2,794	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	親子支援事業の参加者延数	人	76	83	90	90
	成果	発達障害児早期支援事業の参加者延数	人	462	473	450	450
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	親子支援事業、発達障害児早期支援事業ともに参加者は延数横ばい。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	妊産婦健康診査事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課		担当者	鈴木 由佳			
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	04	子どもの健やかな成長支援				
事業の目的	経済的負担の軽減を図り妊産婦健康診査受診率を向上する。 未受診者について確認することにより虐待予防に務める。						
事業の概要	妊婦健康診査14回、産婦健診2回費用の助成を行っている。県外医療機関で契約できない医療機関は扶助費で対応している。新生児聴覚検査の助成						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	31,095		32,843		32,722	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	受診票交付者のうち、妊婦健診の受診者数（延べ人数）	人	3,861	4,750	4,000	4,000
	成果	産婦健診（産後2週間と1か月）の受診者数（延べ人数）	人	578	607	600	600
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	妊婦健診および産婦健診の延受診者数は前年度より増加している。妊娠届出数の増加によるものと思われる					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

事務事業調書（通常評価事業 事後評価）

事務事業名	児童医療費助成事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課			担当者	加藤 咲楽		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	05	子育てのための経済支援				
事業の目的	児童の医療に対する経済的な負担・不安が軽減される。						
事業の概要	18歳までの児童の保険診療費等に係る自己負担分に対して助成する。県のこども医療助成制度は小6までが対象であり、中学生以上は市単独事業として実施。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	176,722		197,188		200,561	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	受給資格証交付率	%	99	98	100	100
	成果	負担軽減された年間医療費総額	千円	171,830	191,940	194,000	194,000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	受診しやすい環境になったことから、受診の抑制が減少したと思われ、児童の医療に対する経済的負担が軽減されると共に、疾病の悪化予防にも繋がったと考えられる。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	妊産婦医療費助成事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	加藤 咲楽			
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	05	子育てのための経済支援				
事業の目的	妊産婦の医療に対する経済的な負担・不安が軽減される。						
事業の概要	妊産婦の保険診療に係る自己負担分を助成する。ただし、薬局を除いた医療機関ごとに月額500円は自己負担となる。						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	8,445		8,761		9,027	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	負担軽減された年間医療費総額	千円	8,445	8,761	9,000	9,000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	適正に執行され、妊産婦の医療に対する負担が軽減された。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	結婚支援事業			事業開始年度	平成28年度		
担当課	総合政策部 総合政策課			担当者	高橋 岳陽		
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	06	次世代育成のための家族形成の支援				
事業の目的	結婚を望むが出会いが無い独身男女の結婚の希望をかなえる						
事業の概要	結婚を望むが出会いが無い独身男女に対して、婚活スキルアップ講座、婚活イベントを実施し、男女の出会いの場を提供することで結婚への機運を醸成する						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	652		2,228		2,557	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	婚活イベント参加者数	人	0	0	80	100
	成果	婚活イベントにおけるカップル成立数	組	0	0	20	30
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベントを中止したことに伴う未達成。 結婚支援制度の拡充として、さくら市結婚新生活支援補助金制度を開始。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	



**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	不妊治療費助成事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 健康増進課			担当者	鈴木 由佳		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	06	次世代育成のための家族形成の支援				
事業の目的	不妊治療に取り組む夫婦の経済的負担を軽減することにより、治療に取り組みやすい環境をつくる。						
事業の概要	子どもを望む夫婦が行う不妊治療のうち、医療保険の適用がなく高額な治療がかかる体外受精・顕微授精・人工授精の治療費用の一部を申請に基づき助成する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	4,298		6,707		6,650	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	不妊治療費助成申請者延数	件	64	96	70	70
	成果	助成実人数に占める妊娠届出者数の割合	%	45	39.7	47	47
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	不妊治療助成人数が増加したが、助成実人数に占める妊娠届出者の割合は減少した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症による影響で少なかったと思われる。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調書（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	子ども子育て支援推進事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	健康福祉部 こども政策課		担当者	田代 直也			
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	02	福祉の充実と安心の社会保障				
	施策	05	安心で安全な子育て環境づくり				
	基本事業	99	総合事業				
事業の目的	子育て支援サービス等の需要と供給のバランスがとれ、市民が安心して子育てできる。						
事業の概要	子ども・子育て支援事業計画に関する審議 事業が計画に即して実施されているか、年度ごとに点検・評価する。						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	2年度		3年度		4年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	28,090		155,898		7,116	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	2年度 実績	3年度 実績	4年度 計画	5年度 計画
	成果	子ども・子育て会議 開催回数	回数	1	1	2	1
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	会議は新型コロナウイルス感染症の影響により書面会議として行った。また、民間施設整備の補助を行い、計画に沿った保育供給体制の整備ができた。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		